

淵上さん、袈裟丸さん全国研究会にて 発表！

9月7日（木）8日（金）の両日、京都にて第14回日本療養病床協会全国研究会が盛大に開催されました。テーマ：高齢者医療における療養病床の役割－京都からの問題提起－と題し全国から会員病院・医院を中心に約2,000人が参加しました。当院から、院内研究発表大会で優秀作だった淵上留美子さん「ケ77 ランに沿った記録への取り組み」と、袈裟丸美幸さん「車いすを駆動するために」の2名が研究発表されました。どうとうとした発表で、参加者からの質問、反応も多く好評だったようです（引率の荒木談）。これで一回り成長された事と思います、お疲れ様でした。その他シンポジウムや特別講演、一般演題発表など様々な角度から療養病床の在り方、今後の展望などについて検討され、参加者をはじめ全国に問題提起されました。報酬改定によりますます厳しさの増した医療経営に対して、わずかな光明を見いだす大きなヒントがたくさん出された事と思います。

